

	A	B	C	D
1				<様式11-1>
2		令和6（2024）年度		学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書
3				松ヶ崎児童館
4		活動の基本目標（指針）	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
5				
6	生活援助機能	安全・衛生の確保	出欠確認・子どもたちの行動状況の把握	うえぶさくらで出欠を確認し、連絡なしに欠席した児童の保護者に確認をとる。登館時間などが、保護者からの課外申請と異なる児童に対して事情を聞き保護者に連絡確認することで、児童の行動や安全を把握することができた。
7			学校への1年生のお迎え	登館経路の確認や交通安全の指導をするともに、会話を通して子どもたちの様子を知ることができた。入学式後の数週間は、小学校までお迎えに行き、その後は徐々に、迎えに行く距離を短くしていく。
8			学校からの集団登館指導	1年生に関しては、登館時歩くのが早い子と遅い子に別れて歩いていることがあったが、お迎え時に声かけを行い、年度末にはまとまって登館出来るようになってきた。2年生以上はクラスで終業時間の違いがあるため、クラスごとにまとまって登館するよう指導している。
9			集団下館・交通安全指導	年度始めには、職員が付き添い、それぞれのコースの子どもたちに経路・交通ルールの指導をすることや、各児童の住んでいる場所や位置関係、雰囲気を知ることができた。また、方面ごとに集団下館をすることで、家の近くまで複数で帰ることができた。しかし、慣れるにつれて、児童館を出てすぐにばらばらになってしまったり、寄り道をしているとの報告も受けた。また、保護者から、違うコースで帰っているとの報告もあった。下館については、全体や個別に話をしたが、今後も注意深くみていく必要がある。地域に新しく橋ができたため、前年度に引き続き、集団帰りに職員が送っていくようにする。
10			手洗い・うがい・手指消毒指導	おやつ前の手洗い・手指消毒は実施できている。それ以外の場面でうがいや手洗いは習慣づいておらず、今後も声掛け等の指導を行う必要がある。
11			あそびのルールや後片付けの徹底	年度始めはきちんとルールを守り遊んでいたが、慣れてきた頃になるとルールを忘れてしまったり、守れなかったりする姿もあった。お迎えに来られてもすぐに用意が出来ない児童がいた為、5時以降の過ごし方についても再度職員間でルールを確認し、子どもたちに伝えるとともに声かけも徹底した。片付けについては、遊びによっては5分早く声かけをする等配慮を行った。ルールについては子どもたちにわかりやすいように掲示し、視覚的にルールを意識できるようにした。
12			草引き	保護者に協力をお願いし、春と秋に2回開催。
13			健康の管理・情緒の安定	あいさつの励行
14			おやつを提供	学年ごとに分けておやつ時間を設け、基本的には食べ残しがないよう声かけをし、無理してまで食べることがないよう伝え、同時にマナーや行儀について指導した。また、アレルギー対策を徹底し、誤飲防止に努めた。
15		基本的生活習慣の確立	学習時間	学校休業中（夏・冬・春休み）は毎日45分設定し学習に取り組んだ。決められた時間内に集中して取り組むことができ、遊びの時間とのメリハリをつけることができた。
16			アレルギー対策	アレルギー表を作成し、誰が何のアレルギーを持っているかを管理・把握し、必要に応じておやつを交換した。重度の子に対しては保護者と相談の上、おやつを提供や周りの子どもたちへの声かけなども注意に行った。エビペン持参のため取り扱いや保管についても全職員で共有した。
17		社会生活技術の獲得	さくらdaysの活用	メッセージ機能を使用した出欠連絡、児童の入退室通知、利用一括申請、データでのおたよりやアンケート配信などをアプリを活用し行った。
18	子ども育成機能		3年生会議	毎月の目標を月始めに考え、目標達成に向け帰りの会等で成果を聞いた。
19		生活体験の拡大	入会式	3年生に歓迎の言葉を言ってもらうなど、節目を感じる行事になった。
20			クラス行事	クラスの交流を目的に、月ごとにみんな遊びや児童館行事など、様々な取り組みを行うことができた。
21		社会性の養成	お誕生日会	今年度も班ごとに司会・みんな遊びを進行してもらう。プレゼントを渡すだけでなく、誕生月の子にインタビューをし、「行事」として子どもたちが楽しめるようにしている。誕生月の子に「誕生日の日と年齢」及びこれから頑張りたいこと」などみんなの前で話してもらうことで今後の抱負や自分自身の誕生を確認する機会にもなっている。人前に出ることが苦手な子ども頑張て話している姿もあり、良い経験となっている。回数を重ねることにみんなで盛り上げようという意識が出てきた。クラスごとに実施。
22			ランチDAY	長期休業中に取り組むことで、毎日の生活に変化を持たすことができ、子どもたちの仲間意識の構築にもつながった。また、保護者からはお弁当づくりの負担軽減になり、助かっているとの声が多数あり、好評である為、実施回数については検討する必要がある。
23		自立の促進と自主性の尊重	学童クリスマス会	帰りの会時に保護者会主催で実施。保護者の方にサンタさんの格好をして登場していただく。その後、みんな遊びをしたり、プレゼントを渡してもらう。
24	子育て支援機能		保護者懇談会	職員と保護者、保護者同士が顔を合わせる機会、子どもたちの様子を共有する機会となった。懇談会后、保護者会の役割に分かれ顔合わせを行う。
25		子育てに必要な情報の提供と交換	個人懇談会	新規入会者と希望世帯を対象にしたことで、各児童の様子を保護者と共有することができ、保護者とともに子どもを支援する体制作りにつながった。
26			介助者会議	児童館側からは、障害のある児童の特性、また館の方針等を伝え、介助者の方からは、悩みや思いを聞くことができた。今後必要に応じて開催し、館と介助者及び介助者同士の関係作りの機会としていきたい。児童の様子や対応について共有することができた。
27		子育ての仲間づくり	入会説明会	学童クラブについて、直接保護者の顔を見ながら説明し、理解してもらうことができた。また、入会前に保護者同士、保護者と職員が顔を合わせやすい機会となった。
28			新入会生事前面談	内定後から入会説明会までの期間に、事前面談を行い、子どもの様子などを共有することができた。
29		子育てを支えるネットワーク形成		

令和6(2024)年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

松ヶ崎児童館

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合 計	内 容
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1～3年	4～6年	中高生	大学生	大人			
生活援助機能															
草引き	2												20	20	館内の整備（安全・衛生の確保）を目的に実施。保護者の方に協力をお願いし、水害訓練時に使用する門付近の草引きや、落ち葉集め、雑草刈り、枝切りなどを行った。
子ども育成機能															
3年生会議	12			108										108	毎月の目標やクラス行事の内容などを話し合い実施する。また、今年度は、エコ活動の内容も考えてもらい実施した。
入会式	1	18	10	12	12	3	1						25	81	3年生に歓迎の言葉を言ってもらうなど、節目を感じる行事になった。
クラス行事	11	85	50	57	46	5	3							246	クラスの交流を目的に、3年生会議で月ごとにみんな遊びや児童館行事など、様々な取り組みを行う。
お誕生日会	12	134	82	91	80	3	3							393	誕生日の月の子がインタビューをうけ、全員の前で発表する。また、職員からメッセージカードと、プレゼントを渡す。クラスごとに実施。
ランチDAY	1	9	12	9	11	3	2							46	長期休業中に実施。昼食を職員が注文し、みんなで同じメニューを食べて楽しむ。
学童クリスマス会	1	15	12	9	7							7		50	帰りの会時に保護者会の方に協力いただき、サンタさんの格好をして登場していただく。その後、プレゼントをいただく。
子育て支援機能															
保護者会役員打合せ	1												12	12	新旧保護者会による打合せ。
保護者懇談会	1												33	33	職員と保護者、保護者同士が顔を合わせる機会、子どもたちの様子を共有する機会となった。懇談会后、保護者会の役割に分かれ顔合わせを行う。
保護者会顔合わせ	1												36	36	保護者懇談会終了後に、保護者会主催行事と保護者会共催行事の実行委員同士が集まり、自己紹介や今後の予定などを共有した。
個人懇談会	17	3											35	38	年に2回（春・冬）、2週間程度懇談期間を設定し、新入会と希望世帯対象に20分程度行う。
介助者会議	1												2	2	登録・活動している介助者と児童の様子について情報共有を行う。館からは、児童の特性、保護者の思い、館の方針等を伝え、介助者からは、悩みや質問等をきく。
入会説明会	1												20	20	新年度入会の保護者を対象に、学童クラブ及び児童館についての説明や集団下館のルートの確認等を行う。40分程度。欠席者には別の日に来てもらい、必ず全保護者に説明を行う。
修了記念品贈呈（保護者会）	1	12	8	12	6		1					3		42	次年度の児童に向けたプレゼントの内容などを保護者とともに実行委員会を設けて、話し合いを行う。

*注1 行事名は、（1）生活援助機能 （2）子ども育成機能 （3）子育て支援機能に分類して記入すること
*注2 2クラス以上の館所で、クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は、行事名と併せて、クラス名を記入すること